

令和6年6月6日

伊豆の国市文化財展示施設 展示設計・製作・設置業務
事業者選定プロポーザル選考結果、審査講評

伊豆の国市文化財展示施設 展示設計・製作・設置業務
プロポーザル審査委員長 菊池 之利

1. 概要

(1) 名称

令和6年度 歴史・文化拠点施設整備事業 伊豆の国市文化財
展示施設 展示設計・製作・設置業務事業者選定プロポーザル

(2) 選定方法

公募型プロポーザル

2. 審査スケジュール

(1) 第1回 審査委員会	令和6年3月28日(木)	実施要領、公募仕様書について
(2) 公募開始	令和6年4月1日(月)	市ホームページ掲載及び 公告掲示
(3) 質問書に対する回答	令和6年4月19日(金)	市ホームページ掲載
(4) 参加申込書の提出 受付締切り	令和6年4月22日(月) 午後5時まで	1者より提出あり
(5) 参加申込者の資格 確認	令和6年4月30日(火)	事務局にて確認 参加申込業者問題なし
(6) 第2回 審査委員会	令和6年5月21日(火)	最終被選定者の最低点基 準点の決定
(7) 技術提案書の提出 受付締切り	令和6年5月24日(金) 午後5時まで	1者より提出あり
(8) 技術提案書の様式等 確認	令和6年5月29日(水)	事務局にて確認。 問題なし

(9) 第3回 審査委員会	令和6年5月31日(金)	ヒアリング、審査
---------------	--------------	----------

3. 選考方法

参加資格と提出様式の逸脱等がないことを確認した後、審査委員会にて、技術提案書の確認、プレゼンテーション及び質疑応答を経て、評価項目及び評価視点を基に審査を行い、総合的に判断し、最終被選定者を選定する。

4. 選考結果

最終被選定者 株式会社丹青社

5. 講評

令和6年4月1日から4月22日までの期間に募集をしたところ、1者から参加申込があり、その後5月24日までに提案書の提出があった。

提案書の提出があった1者について、事務局により企業及び技術者の実績や本事業への配置体制等を評価基準に基づいて、評価を行った。

次に、提出された提案書に加え、プロジェクターを用いたプレゼンテーション及びヒアリングを実施し、総合的な評価を行った。

提案者は、豊富な展示施設の設計・製作・設置の実績を有する設計者であり、提案書のレベルは総じて非常に高かった。

今回のプロポーザルでは、「伊豆の国市文化財展示施設基本構想」及び「伊豆の国市文化財展示施設基本計画」において整理した展示のコンセプトや基本的な考え方を踏まえ、新たに設置する伊豆の国市文化財展示施設における展示設計・製作・設置を行うための具体化に向けた提案を求めている。

特に、本市の豊かな自然の中で繰り広げられてきた人々の多様な営みや、育まれてきた文化など、地域の歴史・文化のストーリーと、その魅力を伝える展示、また、展示を通じて学び、歴史の魅力を体感することにより、過去と現代をつなぎ、フィールドに誘うとともに、未来へつなげる空間を目指す提案を求めるものであった。

本審査委員会は、技術提案書の内容確認及びヒアリングを実施し、厳正に審査した結果、最終被選定者として「株式会社丹青社」を選定した。最終被選定者となった「株式会社丹青社」の提案は、基本構想・基本計画を踏まえ、新施設のインフォメーションとして歴史・文化を掘り下げた多種多様な展示により、伊豆の国市内の

文化財を周遊したくなる「きっかけ」となる提案が見受けられた。

委員からは施設の安定的な稼働及び維持管理の観点の質問があったが、本提案はシンプルなシステムであること及び昨今のデジタル技術の進歩により維持管理費用の低減が計られているとの説明があった。

また、独創的な展示内容、展示配置、市内周遊につなげる提案などが委員に高く評価された。

なお、基本計画で整理された課題に対するアプローチについても的確な手法が提案されていた。

今後、契約締結に至った場合には、市と展示設計業者が密に連携しながらより詳細な展示の検討していくことになるが、より良い展示構成となることを望む。